

富士市公立教育・保育施設再配置計画を策定しました

〈公立幼稚園・保育園などの今後について計画しました〉

市は、乳幼児期の教育・保育環境の向上を図るため、今後の公立教育・保育施設（幼稚園・保育園 など）の効果的・効率的な運営や定員設定など、ハード・ソフト両面から目指すべき姿を明らかにし、市全体の基本的な方向性を示すものとなる「富士市公立教育・保育施設再配置計画」を策定しました。



市内の幼稚園・保育園の現状

市内には、現在、幼稚園が18園（公立10園、私立8園）、保育園が33園（公立18園、民間15園）、認定こども園が12園（公立1園、私立11園）の計63園があります。

近年、幼稚園の入園児童数は減少傾向にある一方、保育園の入園希望児童数は増加傾向にあり、市全体としてバランスのとれた幼稚園・保育園などの整備が必要となっています。

基本方針

- 公立教育・保育施設として担うべき役割・機能の各圏域への確保
- 確保した役割・機能の継続的な維持
- 運営経費の抑制

↓
公立幼稚園・保育園などの適正な数への再編と質の向上

計画期間

10年間（平成30～39年度）

圏域別の再配置計画

計画では、市内を6つの圏域に分けています。今後の人口動向と施設の利

用見込みなどを考慮し、圏域ごとに再配置を行う予定です。

公立幼稚園

圏域	園数(平成29年度(現状)→平成39年度(予定))
吉原西部	1
吉原東部	3→1(2園統廃合)
富士北部	1
富士南部	3→1(2園統廃合)
鷹岡・大淵	2→1(1園統廃合)
富士川	1
市内全体	10→5(5園統廃合)

公立保育園・公立認定こども園

圏域	園数(平成29年度(現状)→平成39年度(予定))
吉原西部	4→2(2園民間移管)
吉原東部	2
富士北部	3→2(1園民間移管)
富士南部	3→1(2園統廃合)
鷹岡・大淵	5→2(3園民間移管)
富士川	2
市内全体	19→11(6園民間移管・2園統廃合)

保育ニーズへの対応

- 小規模保育事業所の増設
- 定員の拡充

再配置計画の主なポイント

◆ハード面

保育園・認定こども園 拠点化・民間移管

各圏域で、障害児保育などを実施し、中心的役割を担う園を1、2園程度設定します。

また継続的な需要があり、民間による効果的・効率的な運営が見込まれる保育園は民間移管します。

幼稚園 統廃合

入園児の減少している幼稚園は、近隣幼稚園と統廃合し、幼稚園における適正規模の集団による教育を提供します。

保育園・認定こども園は、民間保育施設の整備計画や保育ニーズなどを踏まえ、1、2園を統廃合します。

幼稚園 複合化

施設の老朽化などで施設維持が困難な場合、近隣公共施設と複合化し、幼稚園機能を確保します。

◆ソフト面

幼稚園 保育園・認定こども園 特別な配慮や支援が必要な子どもへの取り組みの充実

特別な配慮や支援が必要な子どもの発達を適切に支援します。

幼稚園 保育園・認定こども園 既存事業のさらなる充実

ことばの教室や一時預かりなどが、全ての圏域で利用できるような事業の充実を図ります。

幼稚園 保育園・認定こども園 教育・保育の質の向上

市全体の幼稚園・保育園などの環境の維持と質の向上を図ります。

計画実施後の市全体の施設数(参考)

私立幼稚園と民間保育園を加えた見込みの施設数です。

施設種別	園数(平成29年度(現状)→平成39年度(予定))
幼稚園	公立 10→5 私立 8→8
保育園	公立 18→10 民間 15→22
認定こども園	公立 1 私立 11
小規模保育事業所 事業所内保育事業所	9→13

今後は、(仮称)再配置庁内検討委員会などを設置し、「富士市公立教育・保育施設再配置計画」について検討を進め、社会情勢の変化に応じて見直しを図ります。

問い合わせ／保育幼稚園課

fu-hoikuyouchien@div.city.fuji.shizuoka.jp

☎(55)2928 ☎(55)2979